

# 青山同窓會報

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区開原下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

## ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川

義明 (61回)

53 卒



はこのような気象変化に耐えられるのだろうかと心配になります。

も奈良時代には500万、800万であったといわれていますから、一億を超える現在の人口がこの狭い列島の中で暮らすにはそれなりの厳しい規範が必要といえましょう。

放射能汚染、中国大陸からのPM2.5などの広域的環境汚染や、ミツバチがいなくなるなどの身近で起きている環境汚染にも原因究明と対策が急がれます。科学技術の進歩によって生活の利便性は確かに向上しておりますし、経済の国際的交流も進んで生活の豊かさも向上して

いますが、一方で世界規模での人々の平和的共存や地球の自然環境との付き合い方など新しい規範が必要となっております。これからの時代を担う若者たちにはまさに世界規模の平和的共存の思想や科学技術と自然環境の調和といった大きな課題に貢献していただくべきものだと思います。日本列島の人口

今年の正月は市内に全く雪も無く、除雪も必要ないという年寄りには幸いな正月でしたが、その後春遅くになって雪がちらついたり寒さが続くという不順な気候になりました。遅くなると思われた桜の開花は予想外に早くまりましたが、また寒さがぶり返して桜の花を長く楽しむことが出来ました。全く自然の営みは人智を超えており、いろいろな事象が起きるものだと驚いてしまいます。花の咲くときに飛んでくる小さな蝶や虫たち

更には今年度の卒業生の大学受験の成績には目を見張るものがありました。すでに報道されているところですが東大、京大、東北大などの難関大学への合格者

## 青山学術文化講演会

今年も新潟高校卒業生で、皆様のご活躍を心からお待ち申し上げます。

開催日 12月6日(土) 13:30 ~ 16:00

定員 400名

(一般市民の方々にも聞いていただきます)

会場 新潟県立新潟高等学校 視聴覚ホール

参加費 無料

- ・駐車場はありません
  - ・スリッパの数が限られています。
- なるべく「上履き」をお持ちください。

### 講演予定者

#### 猪股 裕紀洋さん (79回卒)

熊本大学小児外科・移植外科教授、熊本大学医学部附属病院前病院長、日本移植学会副理事長

#### 演題 「肝臓移植の最前線」

国内の肝臓移植は、20年以上の歴史を経て一般的医療となりつつある。瀕死の患者を救う、身近になってきたこの医療の光と影を、実態と展望を含めてお伝えしたい。

#### 坂井 秀弥さん (81回卒)

奈良大学文学部教授 (考古学・文化財学)

#### 演題 「奈良への憧れから新潟の歴史 発見へ—考古学40年—」

高校の修学旅行で訪れた古代史の舞台「飛鳥」に感動し、始めた考古学。新潟に戻り発掘した遺跡から故郷のかけがえのない歴史を知る。日本の考古学や邪馬台国についても解説したい。

### お申し込み方法

当日、直接お出でください。当日は満席になり次第締め切らせていただきます。

### お問い合わせ

青山同窓会事務局 電話・FAX 025-266-5268  
E-mail niigata\_aoyama@yahoo.co.jp



# 平成26年 青山同窓会新年会報告

登坂 寛 (98回) 90卒

平成26年2月21日(金)、ホテルイタリヤ軒で青山同窓会新年会が開催され、平日にもかかわらず、百名以上の参加がありました。

最初に、長谷川義明同窓会会長(61回)からご挨拶があり、新年会の前に開催された幹事会にて同窓会総会を盛り上げるため、若い世代の総会参加を促すための方策について話し合われたことを報告されました。

次に、山本久教頭より、昨年の夏のインターハイにて陸上、フェンシングで本校生徒2名が優勝したことを、写真部での全国大会での活躍を報告、また今年度の大学推薦入試の結果報告がされました。

続いて、篠田昭新潟市長(75回)より来賓挨拶があり、様々な分野での卒業生の活躍を耳にしていること、新潟市がユニスコ創造都市(食文化)での登録を目指していることなどについて話されました。

そして、今湊良敬さん(55回)のご発声で乾杯となり、90代の大先輩がたから20代の若いかたまで、世代を超えて親交を深め、楽しい歓談が続きました。公務の関係で遅れていた佐藤信秋参議院議員(74回)、石崎徹衆議院議員(110回)が到着され、それぞれ挨拶をされました。



## 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会

校内幹事 櫻井 麻利子 (94回) 86卒

6月20日(金)ANAインターコンチネンタルホテル東京にて、表記の会が開催されました。新潟からは、長谷川義明会長、富山修一幹事長、旧3学年より

太田裕東京青山同窓会副会長(71回)、来賓挨拶の後、緒方俊雄さん(84回)の講演がありました。元々は大手電機メーカーで半導体レーザの開発に携わっていた緒方さんは、会社勤務の傍ら臨床心理士、産業カウンセラーの資格を取得し、現在はカウンセリング研究所所長を務めていらつしやいます。その経験から「大学時代をいかに生きるか」と題してお話いただきました。

これまでのカウンセリングの経験から、社会人になるための準備期間である大学4年間をどう過ごすかがその後の人生に大きく影響する気がしている。学生はお金を払ってサービスマを受持っているが、社会人はお金をもらって仕事をしているのだから、いいことばかりの会社なんてない、嫌なことがあつて辞めていたらきりがいい。だからこそストレス耐性やコミュニケーション能力を高めなければならぬが、これは勉強ばかりして

いたのでは鍛えられない。そのためには「部活やサークル活動」「恋愛」「アルバイト」「ひとり旅」を是非やって欲しい。「大学時代にやりたいことを見つけて、オンラインを指して欲しい」「大学時代に人について、仕事についてよく考えて欲しい」と新人たちへ熱くメッセージを語られました。

恒例の新人コールが山田徹さん(81回)により行われ、新人を代表して角木啓太さんが返礼の辞を述べた後、安宅久憲さん(61回)の御発声で懇親会が始まりました。

世代を超えて親交を深め、最後に、出席した新人12名が壇上に並び、藤田晟也さんと田中麟太郎さんの音頭で校歌を、松野泰知さん、角木啓太さん、大竹良輔さんがリードして丈夫を斉唱し、閉会となりました。

卒業式からわずか三ヶ月ですが、東京の風にあつたつて少し大人になった新人122回生たちが温かく迎えられた会でした。

# 関西青山同窓会開催

島田 茂 (83回) 75卒

平成26年2月22日(土) 13日  
目となる関西青山同窓会が、  
ウエスティンホテル大阪で開催  
されました。

伊藤洋介君(83回)の司会で  
開会し、最初に関西青山同窓会  
会長である渡辺操さん(66回)  
より御挨拶をいただきました。

新潟から長谷川義明青山同窓  
会会長(61回)、山内春夫同副  
会長(76回)及び校内幹事櫻井  
麻利子教諭(94回)を迎え、51  
名が出席しました。前回は平成  
22年11月でしたので、実に3年  
ぶりの開催になりました。事務  
局の方としましては毎年の開催  
を希望してはいたのですが、前  
回の参加者が32名と減少傾向の  
中、同窓会のあり方を模索して  
いる間にあつという間に1年、  
2年と経ち、さすがに3年を経  
て、先輩方からの叱咤激励もあ  
り、開催の運びとなりました。  
特に会場選定から会場ホテル側  
との交渉まで、ご尽力していた  
だいた79回の内山さん・富山さ  
んには、改めてお礼申し上げます。

猪股先生の講演の後、高橋貞  
夫さん(65回)の音頭で乾杯し、  
歓談となりました。初々しい現  
役大学生が6名参加し、諸先輩  
方に自己紹介や近況報告等をし  
て、和やかな雰囲気となりまし

た。その後、新潟の長谷川会長  
より御挨拶があり、昨年の創立  
百二十周年の盛会と関西青山同  
窓会の久しぶりの開催へのお祝  
いの言葉をいただきました。長  
谷川会長は前日に新潟での青山  
同窓会に出席された後で、関西  
青山同窓会にも連日の出席をい  
ただきました。また京大OB会に  
も必ず出席されるそうで、関西  
との縁は深いとのこと、今後と  
も、ご都合の付く限り関西青山  
同窓会にご出席をお願いした次  
第です。

お開きは関西青山同窓会の前  
会長で京大名誉教授の佐藤  
幸治さん(64回)に御挨拶をい  
ただきました。人生と生活は別  
物という哲学論を説いていただ  
き、あわや第2講演会になだれ  
込みそうになり、改めて青山は  
多彩な人材を輩出していると感  
じ入りました。

最後に新潟の青山本部から  
ふなぐち菊水一番しほり、関  
西同窓会からは、張鶴・八海山  
の差し入れがあり、あつという  
間に飲み干された事をご報告致  
します。

久し振りの同窓会となり、会  
場も、これまでの新阪急ホテル  
から一新され、ウエスティンホ  
テルになり、青山関西同窓会の  
再開を祝うような華やかな雰囲気  
の中、午後7時に始まりま



3年振り開催ということもあ  
り、歓談も盛り上がり、楽しい  
時間もあつという間に過ぎて、

**青山同窓会 平成27年  
新年会のお知らせ**

来年の新年会は平成 27 年 2 月 20 日  
(金)を予定しております。詳細は次号  
会報に掲載いたします。

**東北青山同窓会第4回総会のご案内**

日時 平成 26 年秋頃  
会場 仙台市内 (予定)  
会費 未定  
問い合わせ先 詳細は決まりましたら、東北青山同窓会ホームページ・  
フェイスブックグループページ等でお知らせいたします。  
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tohoku-aoyama/>

# ご挨拶

総会実行委員長

渋谷 聡 (88回) 80卒



今年度より青山同窓会総会実行委員長を拝名致しました、88回卒の渋谷聡と申します。

このような大役を仰せつかったことに緊張と責任を感じておりますが、大過なく任を全うできよう努めて参りたいと思っております。

また、副実行委員長には、柳本和貴さん(92回卒)と町田一越さん(92回卒)に就いていただきます。

今年度は、会場がANAクラウンプラザホテル新潟となりました。受付方法は、以前より導入されました事前振込方式でのチケット購入といたします。

受付や運営方法についてのご意見、進行やサービスに対するご要望等々がございましたら、私や実行副委員長、または同窓会事務局等を通じて忌憚なく

くお伝え下さいますようお願い申し上げます。

また、ここ数年、総会参加者数が減少しつつありますが、この減少傾向に歯止めをかける努力もして行きたいと考えております。

手始めに、今年度は総会周知のための新聞広告を6月13日の新潟日報朝刊に掲載いたしました。また、若い世代の参加者の増加を推し進めるため、学年幹事の明確化も図っているところであります。

年に一度の同窓会懇親会が、旧友との至要な語り合いの場となりますことと、先輩後輩の絆を深める場となりますよう努力を尽くして参ります。盛大な会となりませう、皆様のご協力をお願い申し上げます。



# PTA会長あいさつ

畑野 晋一 (92回) 84卒



得ながら、引き続き出来る限りのバックアップをさせていただきます。

私自身昨年PTA副会長を務めさせていただき、新潟高校の自由な校風を思い出し、子供といっしょにもう一度学ぼうと思いました。「自主自律」を考えると、自由であることから始まり、自由であるがために、与えられたことは責任をもってやらなければいけない。人に言われたからやるのではなく自分の意志で考え、行動する。そうした中から、社会のリーダーを目指す生徒が育ってくれることを願っています。そして、青陵健児が将来自主自律した社会人になり、人の後追いではなく、フロンティアにチャレンジしてくれる人が一人でも多く出てくれることを願っています。本年度も一年間、青陵祭、青山祭を楽しみに、青陵健児といっしょに学んでいきたいと思っております。

同窓会会員の皆様はじめまして。平成26年度新潟高校のPTA会長を仰せつかりました畑野晋一と申します。PTA活動とは無縁だった私にこのような大役が務まるか、不安の中にも、母校に少しでも恩返しできればと気の引き締まる思いです。

昨年の生徒は文武両道に優れた活気ある皆さんでした。スポーツ、文化の分野で全国大会に於いて優秀な成績を残された方が3名もいました。進学においても全国公立高校のトップクラスの成績を残されたと聞いております。生徒の皆さん、保護者の皆様のご努力はもろろんでありますが、先生方の素晴らしい指導力と青山同窓会の皆様の多大なるご支援あつてのことと感謝申し上げます。PTAとしてお願い申し上げますとともに皆様の益々のご健勝を祈念いたします。

励を通じて、先生方のご協力を

## 東京青山同窓会 平成26年 総会のご案内

**日時** 平成 26 年 11 月 7 日 (金)  
受付開始：午後 6 時  
開 会：午後 6 時 30 分

**会場** ANA インターコンチネンタルホテル東京  
港区赤坂 1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

**会費** 一般：8,000円 女性：6,000円 大学生：3,000円

**プログラム** ◇総会議事◇ 会務報告・会計報告など  
◇懇 親 会◇ 着席buffet アトラクション

**問い合わせ先** 東京青山同窓会事務局  
(有)ジェイ・クラブ内  
TEL 03-3423-3591  
E-mail : kusakabe@moon.email.ne.jp

### ★青山同窓会の書籍等のご案内★

創立百二十周年記念事業の一環として作成しました書籍等を、ご希望の同窓の皆様にお分けいたしております。また、校歌・応援歌を取めたCDもございます。ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

- 『青山百二十年史』書籍 (CD-ROM 付き) 10,000 円 (送料・振込手数料別途)
- 創立百二十周年記念式典 DVD 2,500 円 (送料・振込手数料別途)
- 『青山同窓会 百二十周年名簿』 5,000 円 (送料・振込手数料込み)
- 校歌・応援歌 CD 1,000 円 (送料・振込手数料別途)

同窓生訪問

新潟商工会議所 第21代会頭 福田勝之さん(82回)74卒を訪ねて

会報編集委員 金井 利郎 (92回) 84卒 坂井奈津子 (96回) 88卒

平成25年11月より新潟商工会議所会頭に就任された福田勝之さんにお話を伺いました。

話題の始まりに「なぜ県高(けんだか)と呼ぶのだろうか。他県では県立〇〇高校と言うのに新潟だけ独特だね。応援歌には青陵健児という呼び名もあるね。」等、青山の同窓生なら共感できる話題を切り出されて、和んだ雰囲気インタビューを始めることができました。

・ラグビーをしたければ京大に行け  
高校時代を振り返りながら、新潟高校は良い意味で文武両道、勉強だけやっている高校でなかった、青陵祭で団長として3学年をまとめ上げ、勝てはしなかったけれど共に一つの目標に向かう経験ができたとお話頂きました。また、先生の話で一番心に残った一言として、高1の世界史の授業で関根彰圓先生の「ラグビーをしたかったら京大へ行け!」という一言をあげられました。何かをしたい、そ

新潟に戻り福田道路に入られたそうです。

・相手のことを考え厳しいことでも言える勇氣

銀行業から建設業、サラリーマンから経営者へと業種も立場も変わった中で、日本全国の現場を見てきたそうです。伺った中で一番印象に残ったのが銀座のメイン道路のヒートアイランド対策の舗装のお話でした。夜中でも客足の途切れない銀座の道を通行止めにするのは至難の業ですが、何日もかけて深夜に工事するより一晩通行止めにして一日で工事をやり遂げるよう提案したそうです。お店の人も道を歩く人も工事をする人も一日で完了した方が良いのは分か

・地域活性化に大切なこと 物を活かす人を活かす

その後、福田組に入り、現在代表取締役会長であると共に、昨年11月より新潟商工会議所会頭の役職を務めておられます。新潟商工会議所は「中小企業の活力強化と魅力ある地域づくりの推進」をテーマに掲げて、中小企業振興、まちづくり、観光振興などに取り組むコー

ダイネーター役であると共に、地域の声を国・県・市に伝える活動をしているそうです。

最近話題の佐渡金銀山の世界文化遺産登録に向けた支援活動もその一つで、佐渡の観光客が増え賑やかになることが交流人口を増やし、新潟全体の発展に繋がるのだそうです。どんな業種でも町が発展しなければ仕事は



増えません。地域活性化が大切であり、そのために必要なことは、物を活かす、人を活かす、ただ使うことではなく活かすこと、各企業の持ち味を活かすことが大切だそうです。県内の16商工会議所が一緒になって地域活性化を支援していくと共に、日本商工会議所の副会頭として地方の声を発信していきたいとお話頂きました。

・歴史を学ぶこと、それも経験者から学ぶこと  
最後に後輩や在校生に対して「歴史から学ぶことは大切、そ

れも直接経験された人、年配者からの学べる機会は貴重です。」とメッセージを頂きました。近隣諸国と歴史認識について論争の絶えない昨今、そういう歴史も大切ですが、私達の地域の先輩方から口伝される歴史にもつと興味を持ってほしいそうです。新潟には、青山同窓会に様々な分野で素晴らしい経験をされた先輩方が沢山います。今回のインタビューもその一つの機会であると実感しました。福田先輩、貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございます。(金井 記)

同期会報告

84回生は2年毎の同期会を

開催し続けます

宮崎 清也 (84回) 76卒

青山同窓会の皆様、いつもお世話になっております。2014年1月2日、新潟グランドホテルにて新潟高等学校84回卒業生同期会を開催しました。以下、開催のご報告をします。

84回生は1976年3月に卒業し、現在は56歳を過ぎたところであり、卒業以来、はやくも直接経験された人、年配者からの学べる機会は貴重です。」とメッセージを頂きました。近隣諸国と歴史認識について論争の絶えない昨今、そういう歴史も大切ですが、私達の地域の先輩方から口伝される歴史にもつと興味を持ってほしいそうです。新潟には、青山同窓会に様々な分野で素晴らしい経験をされた先輩方が沢山います。今回のインタビューもその一つの機会であると実感しました。福田先輩、貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございます。(金井 記)



卒業のときは70年代の後半であり、2度の石油ショックと外国為替自由化ショックが、社会との関わりを始めました。バブル経済の恩恵を感じる事があつたのか無かつたのか判らないうちに、30歳台を駆け抜けました。それから面白いの連続でした。バブル経済の崩壊、阪神淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災、原発事故に立ち向かい、2014年の今、最後のダッシュに向けて進んでいます。

84回生同期会を初めて開催したのは42歳のときでした。永年応援団長の行田充君が「同期会を開催しねばだめだこてや！」と、先輩諸氏から暖かく脅されたのは、40歳の青山同窓会総会の新年会でした。開催しようにも、現住所不明者多数であり、名簿の整備から始めるしかありませんでした。我々の期は、高校3年間の毎年、クラス替えをしたために、同級生記憶が極めて薄く、名簿整備は難航しました。444名卒業のうち、現住所を把握していた数は僅か97名。1年半を掛けて連絡先の把握に務めました。時代がインターネット、携帯電話メールに移行していた時期でもあり、多く同期生の住所把握は電子メールに頼りました。しかし、最後の詰めは、今井康晴くん、小

山 芳明くんの実地確認に助けられました。最終的には330名を把握することができました。第1回目の出席者は118名であり、大いに盛り上がりました。

その後も、住所管理を徹底して名簿整備を進め、現在は378名を把握しています。

当初、84回生という数字に因み、8と4の数字の西暦年での開催をすることとしたのですが、2回目の同期会開催の席で、「次回開催までの間に、誰かが先に逝ってしまったのでは悲しいよなあ」という声は胸に響きました。その声に押されて、3回目以降は2年毎に開催となりました。実際のところ、残念ながら、2年毎の開催の間に、先に逝ってしまった方がありました。元気なうちは2年毎の開催を誓いました。以来10年。2014年の開催は64名の出席でした。会場はいつもの新潟グランドホテル。1月2日、開始時刻も毎回同じ午後2時から乾杯。終いは午後7時。料理は午後4時半で終了。ホテルに負担を掛けずローコストで開催を続けています。その後は、各自、街へ消えていきました。

次回は、2016年1月2日午後2時乾杯です。皆の元気な顔を楽しみにしています。

還暦の歳に、新潟と東京の間地点で泊まりの開催、ということ先輩から教わつていました。湯沢あたりで開催することになるのでしようが、果たして還暦開催かな？という気持ちにもなっています。時代は65歳定年です。66歳に泊まり開催となるかもしれません。どうしたらいいでしょうか、皆様に御指導いただけたらありがたいです。

84回生は丈夫を五番まで高らかに歌いあげます！  
(写真は2次会の様子です)

うことは珍しいと思う。会を受付の段階から再会を喜ぶ面々がなかなか席につかない状況から始まり、乾杯後のテール代表のスピーチや、同期で三味線ブレイヤーとして活躍中の小林史佳くんの演奏などもあり、楽しく時間は過ぎた。

終盤のクラスごとの集合写真の撮影後には好きな有志のグループでの撮影タイムとしたが、これが意外と盛り上がり、小・中学校から部活動などを意識せずに過ごした仲間がそれぞれのアイデンティティにつながつているのだと改めて感じた瞬間でもあった。

幹事自身も楽しみすぎて、肝心の恩師への御礼の花束を忘れる所であったが、ホテルの方から指摘頂き、最後に出席頂いた恩師に感謝の意を伝えた。同期だけではなく恩師の先生



### 101回生同期会開催報告

若山 裕伸 (101回) 93卒

新年1月4日(土)に101回同期会をホテルオークラにて開催した。母校を卒業してから既に20年が過ぎ、同期の消息を確かめつつ、各界での活躍の様子を恩師にご報告できればとの想いもあり、卒業時のクラス担任、学年主任の先生方も招待した。諸先輩方からは「卒業20周年で同期会をやる代が多い」とお聞きしていたもののその機会を逃してしまっていたのである

が、同期からの要望も出始めたこともあって今年40歳という新たなステージを迎える節目に卒業以来初めてとなる同期全体での会の開催となった。

子育て世代ということもあり夜は家を空けづらい面々も配慮し昼間の開催としたことも功を奏し、結果的には120名を上回る参加者を得て会も大変盛り上がった。聞くところによると同期会で100名を上回るとい

うことは珍しいと思う。会を受付の段階から再会を喜ぶ面々がなかなか席につかない状況から始まり、乾杯後のテール代表のスピーチや、同期で三味線ブレイヤーとして活躍中の小林史佳くんの演奏などもあり、楽しく時間は過ぎた。

終盤のクラスごとの集合写真の撮影後には好きな有志のグループでの撮影タイムとしたが、これが意外と盛り上がり、小・中学校から部活動などを意識せずに過ごした仲間がそれぞれのアイデンティティにつながつているのだと改めて感じた瞬間でもあった。

幹事自身も楽しみすぎて、肝心の恩師への御礼の花束を忘れる所であったが、ホテルの方から指摘頂き、最後に出席頂いた恩師に感謝の意を伝えた。同期だけではなく恩師の先生

方がとても喜んでくださったことは、企画した実行委員会としても嬉しいことであった。

お昼開催にしたものの、四方山話に花は咲き、最終的に残ったメンバーが解散したのは結局日付が変わった頃であったことを書き添えて終わりとした。

### 集まれ！チーム県高2005

同窓会幹事 滝沢 渚 (113回) 05卒

卒業から9年—113回生の初学年同窓会を開催しました。2014年1月4日、9年ぶりに新潟高校2005年卒の同窓生たちが顔を合わせました。なぜこのタイミングで？と聞かれると「数秘術でいうところのサイクルが1つ終わる年だから」なんて冗談を言うこともあつたのですが、本当の理由は単純。過去11年間で最高の日並びであった昨年未年始ならより多くの人が参加できるのでは？と考えたためです。



もちろん9連休で長期旅行をなさる方が多いリスクもありましたが、目論見は当たり。学生172名と先生5名の総勢177名が参加する大規模な同窓会となりました。

コンセプトは「集まれ！チーム 県高2005」

わざわざ連休中に足を運んで

くれているのでどうか楽しんでもらいたいものです。県高生は「同窓生」という枠組みを越えてひとつの「チーム」であるという考え方を基軸に、より多くの方々が交流できる企画を用意しました。

「在学中に流行した音楽CDジャケットのピースを探せ」というアイスブレイクに始まり、懐かしの「ジャンケンジェンガ」を敢行。最初は戸惑っていた参加者たちも、18回連続勝利を収めてジャンケン覇者となった伴田さんを祝福する頃にはすっかり楽しんでくれたようでした。



**若手画家の登竜門「シエル美術賞」に  
武藤浩一さん (通36回) 94卒  
グランプリ**

会報編集委員 笹川 薫 (通37回) 95卒

とさせる難問に取り組む姿はまるで昔に戻ったよう。解答解説にご協力下さった1組北岸先生、3組薄先生、4組小林先生、5組中戸先生、6組田邊先生、8組渡邊先生にはこの場を借りて御礼を申し上げます。懐かしこの貴重な授業を受けることができて感無量でした！  
最後は同窓会総幹事である板谷くん率いる応援団による「またすらお」。青陵健児ここに健在！と言わんばかりの大合唱で幕を閉じることができました。  
何年経っても私たちはチームです。会うたびに新しい発見をし、新しい関係が生まれます。この貴重な出会いを大切に、また9年後に会いましょう！

若手画家の登竜門として知られる「シエル美術賞」で、2013年の最高賞・グランプリに武藤浩一さんの作品が選ばれました。  
昭和シエル石油が1956年に創立し、美術界に大きな影響を与えたシエル美術賞(1956年〜1981年)、昭和シエル現代美術賞(1996年〜2001年)の合計31回の実績を踏まえ、時代を担う若手作家を発掘することを目的として、新たに再出発したのがシエル美術賞(2003年〜)です。完全な公募制を採用して将来性のある才能を発掘することを目的とし、現在「若手作家の登竜門」として美術界より評価を得ており、2013年は42回目の開催年となります。

「制作も含め、直接にも間接にも様々な関係性の中で、大きな覚悟の契機をいただいたことに感謝申し上げます。驚き・喜びと共に『この先』ということに漠とした不安がないませに、今の正直な気持ちです。表現する自分に向き合っていければと思います。」と、受賞のコメントを言っておられました。  
今後の武藤さんのご活躍をご祈念いたします。

**75回「青山七五会」**

瀧澤杯・福田杯争奪七五会ゴルフコンペ

日時 8月16日(土) 9時43分～  
場所 新津カントリークラブ

青山七五会納涼会

日時 8月16日(土) 午後6時30分～  
場所 「信濃川」クオリスビル  
会費 6,000円

問い合わせ

富山 TEL 025-223-1161  
FAX 025-223-0137

OB 会 報 告

「青山競技部」のOB・OG会を

復活させます

桜井 仰介 (81回) 73卒

昨年、大分で開催された全国インターハイ800mで広田有紀さんが日本歴代9位の好タイムで見事優勝してくれました。これで昭和60年、走幅跳の小林義治君に続く青山競技部として2人目のインターハイチャンピオンが誕生したことになります。昨年8月のOB・OG会では、本人から賞状・トロフィーを持参してもらい、喜びの報告をしていただいたところです。こうした現役諸君の活躍は我々OB・OGをも大いに元気づけてくれました。

現在、新潟高校陸上部は部員

その会の席上で、これまで8回を数え、先輩諸氏の還暦の祝いも兼ねたこの会を改編整備し、伝統ある「青山陸上部OB会」を構成する大先輩方にもご案内し、昔からの呼称である「青山競技部OB・OG会」として再出発させようという事になりました。会長には元江南高校長で県高体連会長も歴任した高山俊彦先輩から就任していただくことで各年代のOB・OGの皆様のご了解



60名以上を擁し、昨年贈呈されてもらった『丈夫魂』の横断幕のもと、さらなる活躍が期待できます。

そのような後輩諸君を応援するため、そして伝統ある旧制新潟中学・新潟高校陸上競技部の結束をさらに深めるためにも「青山競技部OB・OG会」の復活を期するものであります。発足総会は、8月9日(土)

ボート部OB会

青山艇友会定時総会開催

幹事長 神林 正浩 (89回) 81卒

午後3時から「イタリア軒」春日の間で開催します。6月中旬に開催案内を送付させていただきました。関係の皆様方で、まだ届いていないということがありましたら、左記までご連絡いただければ幸いです。事務局長 高橋みどり (86回) 宛先 新潟市中央区新和 3-14-12-305 電話 025-284-6601

青山艇友会は平成26年3月16日(日)、新潟市内の柳江苑で定時総会を開催いたしました。同窓会の砂田副会長をご来賓にお迎えし、顧問の先生方2名にOBを加え総勢14名の出席でした。

総会は渡辺研二艇友会会長を議長として進行し、報告事項、事業・予算案等を審議し承認されました。昨年の年会費等の納入者は99名で、多くの先輩諸氏のご支援に感謝しております。また、母校支援としてコーチ支援や全国大会出場支援をおこなうことが確認されました。

議案審議後、ボート部顧問を長く務められ昨年お亡くなりなされた大橋禎助先生のご子息で

- OBの大橋潤一さんがお父様の思い出を語ってくださいました。OB一同大橋禎助先生の親しみやすく飄々とした人柄をあらためてお呼びいたしました。懇親会(昼食会)では中華料理をいただきながら旧交を温め、最後は「ますらお」で締めなお開きとなりました。▼出席者14名 (同窓会副会長) 砂田徹也、(顧問) 佐藤弘明、(顧問) 田中友二、(62回) 原正雄、(65回) 佐藤勝弘、(68回) 笠原紘洋、(72回) 富田省一、(75回) 渡辺研二、(76回) 大井峰夫、(78回) 水沼真一、(78回) 大橋潤一、(80回) 櫻井優、(80回) 佐藤正昭、(89回) 神林正浩

活動報告等

▽現役選手の指導支援を現在、渡辺研二会長がされておりますが、コーチをしてくださるOBを探しています。

▽OB現役懇親会を平成25年7月21日(日)に実施。高校生と一緒に昼飯を食べようという会。OB・顧問・高校生総勢33名。全員がスピーチします。

▽艇友会報第35号を8月30日に発行。顧問の先生からの現役活動報告や熟年OBのローイング活動など現役とOBのコミュニケーションツールとなっております。

青山サッカーOB会活動報告

若杉 俊則 (89回) 81卒

サッカー部は、昭和23年に創部されました。OB会には、現在750人の会員がおります。創部65周年を記念し、1月4日、新潟グランドホテルにおいて「新潟高校サッカー部創部65周年記念祝賀会」を68名の参加を頂き開催いたしました。最初に総会を行い規約を改正し、あわせて新役員として75回卒の江口芳春氏を会長に、83回卒の阿部真也氏を副会長に、76回卒の坂上三雄氏及び77回卒の清水美知夫氏を幹事に、89回卒の相場恵美子氏、101回卒の蛭名淳広氏、110回卒の島津直輝氏を



同窓会より御挨拶を頂戴





事務局に、89 回卒の若杉俊則を監事に選出しました。祝賀会では、62 回卒の星野睦夫顧問の記念講演の後、江口新会長より新潟高校サッカー部顧問の永井啓介先生に臨時カンパの目録の贈呈を行いました。永井先生からは「キックボードを利用した自主練習に励み、良い結果を出せるように指導する。」とのお礼の挨拶がありました。多くの皆様のご協力により、当初目標としておりました助成金額を上回ることが出来ました。祝賀会は、元顧問の本田至先生の乾杯の発声で始まり、前顧問の五十嵐茂夫先生からご挨拶を頂いたり、60 回卒の小林吾郎氏から提供して頂いた創部当時の部員の集合写真や歴代の卒業アルバム

の写真を大型スクリーンに映し出し、参加者全員で懐かしい顔を確認しながら、恩師や旧友との再会の輪が出来ておりました。最後に「丈夫を歌い、楽しい時間を過ごしました。例年の行事として、8 月中旬に高校のグラウンドで OB 会と 1 月 2 日に新春初蹴りを行っており、皆さんも参加してください。今後とも、青山サッカー OB 会は、新潟高校サッカー部の支援と会員相互の親睦を図りながら活動して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。既に夏の「OB 会通信」でもお伝えしておりますが、長年「青山サッカー OB 会会長」「新潟県サッカー協会副会長」として新潟



野球部 OB 会の青山野球倶楽部（高橋昇会長 73 回卒）は、3 月 24 日、9 名の新入会員（Ⅱ卒業生）を迎え、総会及び新入会員歓迎会を開催しました。新入会員歓迎会では、参加した OB 諸氏から、卒業に対する敬意と将来に対する激励ならびに、就職後の母校野球部に對する支援の呼び掛けがあり、和やかな雰囲気の中に散会しました。なお、今春、間先生が異動され、後藤先生（前五泉高野球部監督）と、北畑先生（当会員 108 回卒）が赴任され、部長、副部长として佐久間監督を支えていただいています。ここからは、現役諸君の状況を報告します。

### 青山野球倶楽部

青山野球倶楽部事務局長  
小沢 謙一（93 回） 85 卒

チームの課題である打撃強化のため、当会が支援して 3 月から 1 回、元プロ野球選手の広野功氏から打撃コーチを受けています。広野氏は、3 番秋山 4 番清原という西武ライオンズ

### 山岳部 OB 会 60 周年記念祝賀会開催

鈴木 謙輔（95 回） 87 卒

新潟高校山岳部の創部 60 周年祝賀会が 1 月 3 日、新潟市中央区の方代シルバーホテルで開催されました。66 回（昭和 33 年卒）から 118 回（平成 22 年卒）までの 60 人あまりが出席し、昭和 28 年の創部以来、母校の歴史のほぼ半分を達する伝統を振り返るとともに、来賓の歴代顧問の先生方を交え、共に青春を山で過ごした者同士の交流を深めました。祝賀会に先立つ OB 総会では、創立 60 周年記念行事実行委員会

また、4 月には当会初代会長 鍵富清一郎氏の親戚である和田晋弥（89 回卒）氏から、バット 10 本、試合球 10 ダースの寄贈を受け、新品のバットで春の県大会に臨みました。結果は、2 回戦で、その後準決勝に進出した新潟商に 1 対 4 で敗れはしましたが、着実にチーム力が底上げされていると実感しました。日本文理など私学の壁は相当厚いですが、広野氏の指導を念頭に打撃に磨きをかけ、悲願の甲子園大会出場を達成して欲しいものです。日々の練習を頑張っている現役選手諸君の健闘を期待します。

長を務めた馬場泰・OB 会長（74 回・昭和 41 年卒）があいさつし、創部以来の OB、OG が 330 人あまりとなったことを紹介。山岳部の活動が「つらい・苦しい・くさい」「学業第一の環境」「事故に対する懸念」を乗り越えて受け継がれてきたことを語り、「先生には他の部活動にはない苦勞をおかけした。この継続はご指導いただいた先生のおかげ」と歴代顧問の先生方に深く感謝しました。



にテントをのぞいたら、生徒が参考書で勉強していた。負けてられないと、私もヘッドランプの光の下でテスト探点をした」との秘蔵エピソードも披露されました。祝賀会開催にあわせて創部60周年誌の「ふくろう」も発行されました。「ふくろう」は40周年、50周年にも発行されて

現役部員に向けた寄付贈呈も行われ、目録を受け取った現顧問の渡辺喜也先生は「テント代などに使わせていただきたい」とこたえ、「例年9月初旬に合同山行があるなど、現役・OBの交流が濃い。現役部員もOBと山に登ることができて喜んでい」と語りました。現役部員は女子4人を含む10名と、近年にない人数となっており、「先輩からの伝統」である山中での食事の充実ぶりや、夏休みに補習などがあつて夏合宿の日程がとれないなどの悩みもある中で、年10回の月例山行に意欲的に取り組んでいる姿を紹介しました。

祝賀会では歴代顧問の先生7人によるスピーチも。「無事に出発して家に帰る、それをずっとやり遂げたことが私の誇り」という思いや、戦後間もない頃の「全校登山」に山岳部員が大きな役割を果たした思い出などが語られました。また「山行中



平成26年5月20日、新潟県民会館情報ラウンジにおいて第6回新潟高校書道部展が開催されました。書道部員は現在21名。3年生はこの書展を区切りに引退し

### 書道部展報告

青山墨友会 小川 和恵 (101回) 93卒

今年も、9月に現役との交流会を予定しています。詳細が決まりましたらご連絡します。OB/OGのご参加をお待ちしています。

今年も、9月に現役との交流会を予定しています。詳細が決まりましたらご連絡します。OB/OGのご参加をお待ちしています。

おり、今回はB5版、176ページで、山行の思い出や当時の計画書、卒業後の海外遠征の報告などが掲載され、充実の内容となっております。

なお今後に向けた新会長・事務局体制も決まり、会長に桜沢雅志(86回・昭和53年卒)、副会長に上杉知之(95回・昭和62年卒)、事務局長に岩崎保之

(97回・平成1年卒)、事務局幹事に江口哲央(98回・平成2年卒)の各氏が就任しました。

品、約50点の書が並び、盛会のうち無事会期を終えることができました。

心より御礼申し上げます。

青山墨友会の活動もようやく10年を越えました。書道専門の学科に進学した卒業生はもちろんです、皆が様々な形で筆を持ち続けているということが、素晴らしいと感じています。

今年の出品者は次の通りです。

賛助出品(敬称略)

中由 正男(54回)  
田中 貞夫(63回)  
伊藤 勝(64回)  
小川 和恵(101回)  
伊豆名 皓美(113回)  
高橋 佳子(113回)

寺島 翼(113回)  
真砂 沙織(113回)  
波多野 彩佳(114回)  
古俣 慎也(114回)  
増子 健(115回)  
久須美 智子(116回)  
本田 凧(118回)  
上杉 憲(119回)  
久須美 裕子(119回)  
斎藤 千佳子(119回)  
埴 孝哉(119回)  
島村 滯(120回)  
種子 幸奈(120回)  
斎藤 多佳子(121回)  
早福 はるか(121回)  
関 礼菜(121回)  
関 秋菜(122回)  
関 春菜(122回)

総会  
平成25年8月10日、平成25年度総会が新潟市の白山会館で開催されました。

総会では平成24年度会計報告を行い、会計係の坂上結希氏(103回)から決算説明があり、また、会計監査の松本一志氏(94回)が当日欠席のため、事前に監査されたものを事務局で報告させていただき、承認されました。総会に引き続き、懇親会となりました。例年より若手会員が多く参加し、40名超で夏の夜を美味しい生ビールとドイツワインを酌み交わしながら和やかに親交を深めることができました。

最後に、剣友会応援団長の宗村信明氏(88回)の応援指導で母校発展の願いを込めた丈夫の斉唱と、上田茂氏(75回)のドイツ語による挨拶をもって、盛会のうちに締めとなりました。

### 剣道部OB会 平成25年度の活動報告

青山剣友会 事務局代表 滝沢 俊一 (104回) 96卒



また同日午前中、OB・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟市のイタリア軒にて開催されました。村島滋会長(52回)

1月2日、平成26年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催されました。村島滋会長(52回)

また同日午前中、OB・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟市のイタリア軒にて開催されました。村島滋会長(52回)

会員の活躍

平成25年8月18日に山形総合スポーツセンターの昇段審査会で、新井信洋氏が6段に合格されました。

平成25年9月29日、第61回新潟県剣道大会が小千谷市体育館で開催され、個人戦で荻莊則幸選手(83回)

が50歳代の部で3位入賞、団体戦(36歳以上の部)で

新潟市(次鋒)98回新井信洋選手・中堅95回町田一越選手

が3位入賞とそれぞれ健闘しました。

平成25年11月23日、新潟市鳥屋野総合体育館で新潟

県実業団剣道大会が開催され、個人50歳代の部で荻莊

則幸選手が準優勝、40歳代の部で町田一越選手が3位

になりました。

団体戦2部では日産ブリ

ニス部のOB会として、高校卒業と共に自動的に会員となる

500名超の大所帯で構成され、現役生のサポートと年1回の総会を主な活動としております。

総会の日は私の知る限り、毎年お盆の8月14日に決まっております。

その日の日中は現役生・OB・OGを交えた「ソフトテニスを楽しむ会」が開催されるのが恒例です。

県内外、中には海外から帰省された多くの方が集まって、その日限りのスペシャルチームを編成して熱戦を繰り広げます。

テニスは出来なくとも、懐かしい顔に逢いに掛つけてくれる方も多く、そんな楽しい雰囲気クラブが私は好きです。

毎年朝一番に來られて調整に余念のない方、卒業以来(一)初めてラケットを握られる方

など多様です。毎年見られる光景として、日頃の運動不足

熱闘、青山ソフトテニスクラブ

吉井 貴志 (106回) '98卒

裕選手)が準優勝、女子団体ではJR東日本&JT B関東合同チーム(中堅)11回高橋沙緒理選手)が3位に入賞しました。



特別寄稿

第37回青山ゴルフ会 70回が僅差で優勝、69回が準優勝

田中 信 (70回) '62卒

せいか、よく言えばもち肌をコートで如何なく披露される方が少なくありません。しかし夢中になって白球を追いかけると、日に1日分の太陽を肌に吸い込んで、夕方にはこんがり焼けた肌で現役の頃をふっと思い出したりするのでしょうか。

私の楽しみは先生方、先輩後輩の懐かしい顔に逢えることは言うまでもなく、現役生から最近の県内勢力図を聞いたり、平成何年生まれか聞いて時代の流れを感じたりします。

初めは私も彼等と同じく現役生としてOB会に参加し、今では卒業して20年弱になりますが、笑顔の絶えないクラブ運営に携わって來られた諸先輩方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。このH O M Eとも思えるクラブが末永く続くことを願って止みません。

今年も抜けるような空に迎えられる、コートで皆さんにお会いできる事を楽しみにしながら筆をおきたいと思えます。

さる5月25日(日)、新緑に爽やかな風が通る紫雲ゴルフクラブ飯豊コースで、第37回青山ゴルフコンペが開かれ、61回から88回までの35名が参加し、個人戦と卒業年次による団体戦が行われました。

団体戦(上位3名のネット合計)は、70回(成績の上位順に、増田勝弥、斉藤忠正、金子健三、田中信)が224・4点で優勝しました。

準優勝は69回が224・8点

で僅か0ポイント差でした。3位は、61回で226・2点でした。

個人戦は12ホールペリア方式で行われ、坂爪征基さん(69回)が72・8点で優勝、準優勝は神林裕さん(79回)73・0点、3位は増田勝弥さん(70回)73・2点でした。グロスのベスト3は、増田勝弥さん(70回)84、櫻井弘美さん(88回)85、加藤栄一さん(61回)89でした。

ドラコン賞は、加藤栄一さん、

櫻井弘美さん、木村昇さん。ニアピン賞は、増田勝弥さん、藤田巖さん、鈴木将夫さん、金子健三さん、田村要介さん、田中宣男さん、今井康晴さん、田中信さんでした。

われわれ70回は、優勝回数が多い69回の先輩諸兄に例年、オークラホテル15階での2次会に招待していただいておりますが、今回は、優勝、準優勝し大いに盛り上がりました。

私個人としては、苦手だったシヨートホールの3ホールにワンオンしてニアピン賞、後半の13、15番で35打も要してブービー賞、初めて組み合わせ籤にも当たり、おかげさまで大変楽しい青山ゴルフ会でした。



個人優勝  
坂爪征基様 (69回)



団体賞優勝 左から齋藤忠正様、金子健三様、田中信頼様、増田勝弥様 (70回)

### 58回卒フェンシング部加藤高弘先輩の 旭日双光章受章にあたって

フェンシング部一同

平成26年春の叙勲におきまして、加藤高弘先輩が旭日双光章を受賞されました。長年のフェンシングでのスポーツ振興の功労が認められたものです。フェンシング部後輩一同、心からお祝い申し上げます。

加藤先輩は昭和24年9月に3人で新潟高校フェンシング部を

立ち上げられ、主将に就任されました。OB会でフェンシング部を立ち上げた経緯をお尋ねしましたところ、当時は戦後剣道が禁止されていた時期であり、フェンシングなら認められるだろうという事で始めたものだったそうです。その後、国体の新潟県チーム

監督、新潟県フェンシング協会理事長を長年務めあげてこられ、新潟県のフェンシングの普及、強化に努めてこられました。平成4年からは少年少女フェンシング教室を主宰され、ジュニアの育成にも力を入れられました。その結果、新潟県をフェンシング強豪県に押し上げました。

これまで新潟高校からも、たくさんの方のインターハイ入賞者を排出してきました。特に遠藤理沙、古俣潮理などのインターハイ優勝者もでており、新潟高校は全国において、押しも押されぬフェンシング強豪校となっております。現在も26人の現役部員を抱えており、現役部員の今後一層の活躍を期待しています。



加藤先輩は本当に優しく、面倒見のいい方で、後輩一同ずつとお世話になってきました。加藤先輩のためなら一肌脱ぎますという人がたくさんいます。今後のフェンシング部のためにも、是非ご自愛下さいますよう、心から願っております。(88回卒 石原)

### 県内男性最高齢百七歳の父 松井道夫(31回)を語る

松井 光一 (63回) 55卒

父は男のみの4人兄弟、長男正夫23回、次男達夫は29回、三男道夫は31回、四男久夫は37回卒と全員が新潟中学を卒業し、旧制高等学校を経て東京帝国大学に進学。専攻は有機化学、土木工学、農芸化学で、卒業後はそれぞれ任官しました。生存しているのは三男道夫のみです。

祖父が他界すると、その跡を継ぎ弁護士を開業、現在に至っています。戦後第一回の参議院選挙に当選、女性参政権獲得に尽力し、戦争の反省から社会派弁護士として活動しました。依頼者の大半が他界して寂しく過ごす日々、しかし、最長老として青山同窓会総会、弁護士会



左から 曾川マリー 2年生 三輪龍大 3年生 31回道夫 63回光一 小林賢登 3年生

「しっかりと打たれて、攻撃的な碁です」との感想でした。囲碁部の面々が、父の精気を取り戻してくれたと感謝感謝です。父は坂口安吾氏と同期生です。父は58年も長生きしています。父は58年も長生きしている事になります。ありがたい事です。「長生きの秘訣は？」とよく聞かれますので父の口頭の言葉からまとめてみました。酒は飲みたいただけ飲む(晩酌は毎日3合以上)・心配はしない・自然の流れに任せる・悪いことは忘れる・精神的にいつもフリー！運動は散歩を1時間・自分で心地好い体操を開発して毎日10分・長生き体操と称していました。気分転換の速さは人並みでなく、大憤慨していたのに、すぐに平常心に戻るのには驚愕します。食べ物には好き嫌いなし、好物は刺身、肉はエキスのみ吸って飲み込まない事が motto です。「玲瓏の天」や応援歌を上級生に叩き込まれ今も正確に歌いこなすのには驚かされています。

# 青山鳥鷺の会 26 年度ご案内

齋藤 繁夫 旧職員 (77 回) **69 卒**

\* 名称 青山鳥鷺の会

\* 会長 長谷川義明 同窓会長

\* 会員数 現在約 30 人

\* 会員資格 青山同窓生と新潟

高校現職員・旧職員

\* 今年度例会

前期 8 月 9 日 (土)

後期 2 月 8 日 (日)

\* 会場 新潟会館 (中央区幸西

3-3-1)

\* 日程と会費

鳥鷺の会 昼食付き 二千元

10 時 ~ 15 時

対局数 四局

懇親会 三千元 (同会場)

15 時 ~ 17 時

片方のみの参加可。

\* 25 年度成績上位者

前期 8 月 17 日 (土)

優勝 中野三義 (65 回生)

準優勝 佐藤 彬 (71 回生)

3 位 中野祥孝 (102 回生)

後期 2 月 9 日 (日)

優勝 小林啓志 (66 回生)

準優勝 齋藤繁夫 (77 回生)

3 位 飯塚良彦 (旧職員)

\* 連絡先

025 (386) 1560

電話・FAX 共用

青山鳥鷺の会事務局齋藤繁夫

入会ご希望の方は事務局まで

ご連絡ください。

## 同窓の本・CD

### 道楽のジャズをCDに

#### 「I loves you, Porgy」

##### Kimi Hideo Quartet and Toyoko

中野 仁 (67 回) **59 卒**

私達はリーダーの君英夫 (67 回卒) を中心に興味としてジャズ演奏を楽しんでいる全員アマチュアのグループである。新潟ジャズストリートやライヴハウスでの演奏をはじめ年に 10 数回



を傾け演奏に力を注いでいる。

仲村徹 (g) は緩急織りなす美しい多彩なアドリブで、グルーブの演奏に広がりをもたらしした。

年齢不詳の不思議人間・星豊子 (vo) (67 回卒の星允氏夫人) はハスキーな歌声と詞の深い理解からく

る説得力が魅力で、老若男女を問わず多くのファンに囲まれている。

星巧 (tp) は胎教で君バンドのライヴを聴いていたので、直感でこのバンドに調和するのは不思議ではない。

音楽を聴いて楽しむこと自体がとても素晴らしいことです

が、ステージで楽器を演奏したり唄ったりするワクワク感はずいぶん別世界です。良い仲間恵まれ私は幸運です。乾杯!

### LIFE-mag. 第一号

#### 新潟・市民映画館シネ・ウインド編

五十嵐 悠介 (107 回) **99 卒**

2013 年師走、新潟市内の書店に並んだ「LIFE-mag」第一号、表紙を飾るのは新潟市方



きり、闇をゆけ、そして光となれ。」という副題と齋藤さんの写真が相まって、非常にインパクトのある表紙が特徴だ。前文には「本誌は 1 冊全て「シネ・ウインド」特集であり、代表者の齋藤氏の思想と行動を追ったものとなった。名もなき市民が作り上げた新潟の映画館。しかし「シネ・ウインド」はただの映画館ではなかった。ありとあらゆる表現を担保する舞台。そういつても過言ではない。」とある。

「人を信用したら経営なんてやっていけない? 違う、人を信用して経営していく方法を考えている。」「踏み込んでいくんだよ。そこでしか何も生まれてこない。誤解も理解だ。」そこには自分自身が世間と激しく向かい合いながらも、一步を踏み出し、生き方という道を見つけていく断固とした覚悟を見ることが出来るだろう。それはとても眩しい。

「風をきり、闇をゆけ、そして光となれ。」

風に巻き込まれた。読後の感想がそれだ。齋藤さんの言葉、行動一つ一つが行間から浮かび上がってくる。齋藤さんの思想の背骨となる「信頼」という言葉、そして風のような生き方を読み解く鍵は、齋藤さんの人生に深く関わっている坂口安吾にあった。

安吾は「墮ちて、なお生きよ。」と語った。齋藤さんは声をあげ

「雑誌名」Niigata Interview Magazine LIFE-mag. (こじがたいんたびゅーまがじんら いふまぐ) Vol.007 「発行所」株式会社エイチ・ケイ コネクション 新潟市中央区学校町通 3 番町 555-1-9 025-378-3258 (FAX 兼)

母 校 は 今

平成26年度入試結果

進路指導主事 堀越 康裕 (97回) '89卒

<平成 26 年度入試概況>

平成 26 年度の入試は、高校卒業者数の減少に当たり、1 月に実施されたセンター試験の出願者数は現役生で減少(前年比-3.6%)となりました。また、国公立大学の志願者数は前年から五千人あまり減少、主要私立大の志願者数もほぼ前年並みとなりました。2015 年度より数学と理科が新課程に準じた出題になることを敬遠して、旧帝大などの難関国立大学では前期後期とも弱気な志望動向で全体では志願者数がわずかに減少するなど、手堅い出願傾向も見られました。学部系統別の人気は「文低理(医)高」、「資格志向」が継続しており、前期日程全体の志願者数は前年比 2%ほどの減少率に対して、文系ではそれ以上に減少率が高い系統が目立ちました。志願者の減少が続いていた「経済・経営・商」学系が増加に転じたものの、「文・人文」「社会・国際」「法・政治」の学系は 3~4%の減少となりました。とりわけ減少率が高いのが「教育」学系で、2 年連続大幅に減少しています。これは、特定の大学によるものではなく、全国的な傾向です。理系では「理」「工」「農」「医・歯・薬・保健」の学系は前年並みとなっており、近年の理系人気の維持がうかがえます。また、理系のセンター試験の平均点アップの影響で、医学部を中心に第一段階選抜不合格者数が大幅に増加したことも特徴です。センター試験で国語が過去最低の平均点の更新、文系が平均点ダウンとなる中、十分な記述力を備えた本校生徒はその影響に左右されることなく健闘し、多くの生徒が「入りたい大学」への志を貫いて、朗報を持ってきてくれました。

<平成 26 年 3 月卒業生の進学状況>

難関大学(東大、京大、一橋大、東工大、国公立大医学部医学科および旧帝大)の合格者は 93 名となり、平成に入ってから過去最高となりました。本年の入試結果から見ても、新潟高校生は全国のトップクラスの大学に合格できる能力を持つ生徒集団であり、個々の力が十分に発揮でき

ば目標に達することができることを示しています。

東京大の合格者数(過去 5 年間 4→7→8→8→12)は、文Ⅱ 2 名、文Ⅲ 2 名、理Ⅰ 5 名、理Ⅱ 1 名、理Ⅲ 2 名の計 12 名(既卒は文Ⅰ 4、文Ⅲ 2、理Ⅰ 2)で計 20 名)でした。理Ⅲの現役合格は 3 年ぶりで、2 名の現役合格は、全国公立校の中では本校だけでした。また、京大 3→7、東北大 18→31、北大 9→14 など各大学ともに昨年より合格者数が増加しています。

国公立大医学科の現役合格者は、3 年連続の増で過去最高だった昨年を 2 名上回り 26 名となりました。内訳は、新潟大をはじめ、北大、東北大などに合格者を出しています。過去 5 年間の推移は 22→19→19→24→26 となり、私大を含めると現役で 28 名が進学しました。要因としては、理数科のメディカルコース(医療系希望者コース)での学習や講演会、大学訪問等を通じて絶えず動機づけがなされたことが考えられます。また、既卒生の健闘も顕著であり、現浪合計の 53 名の合格は、全国の公立高校の中では最多です。潜在的に医学科志望者が多いこともあることから、現役合格 30 名を目指して今後とも取り組んでいきます。

進学率も 71.1%と昨年度より大幅にアップしました。文理別に見ると、文系で 89.7%、理系 59.6%と差が見られますが、「文低理高」の流れに加えて国公立大の 2 極化が加速し、理系を中心に本校生徒が目標とする大学入試が依然として厳しい競争であることを意味しています。自分の可能性を信じて、捲土重来を期す生徒に対しては、昨年同様「ますらお通信」を送って激励していきます。

<最後に>

「文武両道」の伝統を堅持しつつ、「入りたい大学」に合格できる力をつけるべく、私たち職員は今後も生徒の学力向上に努めてまいります。

同窓会の皆様方からのご支援をよろしく願います。

主な大学合格者数 (現役合格者延べ数)

Table with 9 columns: 大学名, 平成19年, 平成20年, 平成21年, 平成22年, 平成23年, 平成24年, 平成25年, 平成26年. Lists major national/public universities and their enrollment trends.

Table with 9 columns: 大学名, 平成19年, 平成20年, 平成21年, 平成22年, 平成23年, 平成24年, 平成25年, 平成26年. Lists major private universities and their enrollment trends.

\*空白は未受験、0は合格者0(ゼロ)

# <平成 26 年度新潟高等学校県総体等結果報告>

- 1 陸上競技
 

男子：110 mH	第1位 安立 悠紀 (北信越大会出場)
400 mH	第4位 高橋 昂平 (北信越大会出場)
走幅跳	第3位 稲川 尚汰 (北信越大会出場)
三段跳	第1位 稲川 尚汰 (北信越大会出場)
円盤投	第3位 大橋 悟 (北信越大会出場)
八種競技	第6位 石井 雄大
4×100 mR	第7位 安田、安立、浅香、稲川
4×400 mR	第6位 高橋、安立、有波、浅香 (北信越大会出場)

女子：3000 m	第3位 榎 千遥 (北信越大会出場)
走高跳	第4位 鈴木 茜理 (北信越大会出場)
- 2 バスケットボール
 

男子：1回戦	新潟 50-45 巻	2回戦	新潟 38-105 帝京長岡
女子：1回戦	新潟 55-34 高田	2回戦	新潟 32-100 新産大附属
- 3 サッカー
 

1回戦	新潟 3-0 中越	2回戦	新潟 0-3 長岡向陵	ベスト 32
-----	-----------	-----	-------------	--------
- 4 ラグビー
 

1回戦	新潟 122-0 敬和学園	2回戦	新潟 17-60 新発田南
-----	---------------	-----	---------------
- 5 バレーボール
 

男子：1回戦	新潟2 (25-15、25-15) O国際情報	2回戦	新潟O (15-25、14-25) 2小千谷
女子：1回戦	新潟2 (10-25、9-25) O長岡向陵		
- 6 テニス
 

男子：団体戦	ベスト16	個人戦	シングルス	ベスト 32	小林 力
女子：団体戦	ベスト8	個人戦	シングルス	ベスト 16	小野 朋花
- 7 ソフトテニス
 

男子：個人戦	4回戦進出	川村 茂修、皆川 大悟 組		
	3回戦進出	上原 優斗、込山 隼 組		
団体戦	1回戦	新潟2-1 帝京長岡	2回戦	新潟1-2 村上
女子：個人戦	ベスト 64	伊井都優美、高野さやか 組		
	2回戦進出	佐藤 史奈、高橋 郁衣 組		
団体戦	1回戦	新潟0-3 小千谷		
- 8 卓球
 

男子：ダブルス	3回戦進出	宮崎 滉、山田 詩音	シングルス	初戦敗退
女子：ダブルス	初戦敗退			
- 9 バドミントン
 

男子：団体戦	2回戦	長岡商業1-3 新潟	3回戦	巻3-0 新潟	3回戦敗退
女子：団体戦	2回戦	柏崎常磐3-0 新潟	2回戦敗退		
- 10 弓道
 

男子：団体戦	予選敗退	個人戦	斎藤 壮	決勝進出
女子：団体戦	予選敗退	個人戦	寺井 悠	高島理沙子 準決勝進出
- 11 柔道
 

男子団体	決勝トーナメント	2回戦	新潟②-2 上越 (代表勝ち)
	準々決勝	新潟0-5 豊栄	ベスト 8 (北信越大会出場)
男子個人	100kg級	ベスト16	相田 陽介
	81kg級	ベスト8	加藤 稜大 (北信越大会出場)
	73kg級	ベスト16	真藤 俊平
- 12 剣道
 

男子：団体	ベスト8			
個人	3回戦進出	小林祐太郎	2回戦進出	塚本 萌太
女子：団体	ベスト16			
個人	4回戦進出	藤田 実優	3回戦進出	堀田 桃花
- 13 空手道
 

男子：団体組手	ベスト8	団体形	2回戦敗退
女子：団体組手	3位 (北信越決定戦敗退)	団体形	2回戦敗退
個人組手	2回戦進出	丸山 樹	
個人形	2回戦進出	高橋 理紗	
- 14 フェンシング
 

男子：学校対抗戦	2位 (北信越大会出場)			
個人フルーレ	6位 日根 岳			
個人エペ	4位 瀧宮 大介	6位 日根 岳		
個人サーブル	4位 高島 望	5位 花田 亘平		
女子：学校対抗戦	優勝 (インターハイ出場)			
個人フルーレ	優勝	大澤ひかる (インターハイ出場)	2位	大内 唯 (インターハイ出場)
	3位	小林 優香 (北信越大会出場)	4位	小林 千紗
個人エペ	優勝	松木 美生 (インターハイ出場)	2位	坂井 鮎 (北信越大会出場)
- 15 ボート
 

男子：男子シングルスカル	3位	本多 幸浩 (北信越大会出場)
男子ダブルスカル	2位	池田 駿平・鎌田 理喜 (北信越大会出場)
	3位	高橋 涼風・藤田 暁
男子舵手付きコドルブル	3位	高橋 哲・野村 大樹・生越 端揮・遠山 文也・竹田 卓真
女子：女子ダブルスカル	3位	佐々木美穂・坂井 桃花 (北信越大会出場)
- 16 山岳
 

女子：優秀校 (3位) (北信越大会出場)
男子：7位
- 17 水泳
 

男子：男子総合	第5位
50 m自由形	第1位 星川 省吾
100 m自由形	第4位 目黒 佑樹
200 m個人メドレー	第4位 池田 森人
400 mリレー	第5位 目黒・遠藤・星川・丸山
800 mリレー	第5位 目黒・池田・遠藤・丸山
女子：50 m自由形	第2位 伊藤ひかり
100m自由形	第7位 伊藤ひかり
200 m平泳ぎ	第8位 小柳 美汐
- 18 野球
 

第130回北信越高等学校野球新潟県大会				
1回戦	O2-1 佐渡総合	2回戦	X1-4 新潟商業	(次ページへ続く)



19	将棋	男子：団体戦 5位 新潟高校A (篠原、尾崎、平山) 個人戦 3位 橋本 颯 5位 古川 祐也 5位 小幡 尚輝
20	囲碁	男子：団体 1位 小林 賢登、三輪 龍大、松村 朋直 (全国大会出場) 個人 Aブロック 1位 小林 賢登 (全国大会出場) 2位 三輪 龍大 (全国大会出場) Bブロック 4位 松村 朋直 女子：団体 1位 曾川マリー、山田 果歩、大野 李奈 (全国大会出場) 個人 Aブロック 7位 曾川マリー (全国大会出場) Bブロック 8位 大野 李奈 9位 山田 果歩
21	写真	奨励賞 相原 瞳 入選 相庭 晴紀 野内美紗季 佐藤日菜子

### 教育実習報告

#### 教育実習生

今井 晃 (119回)

11卒

私は日本史の教育実習生として3週間お世話になりました。大勢の生徒の前で話すというような経験はこれまでにほとんどなく、実習が始まる前は不安なことも少なかつたのですが、非常に充実した3週間を過ごすことができました。

はじめの1週間は先生方の授業を数多く見学させていただき、様々な授業形態があることを学びました。翌週からは実際に授業を行っていったものの、はじめは内容にまとまりがなく、生徒に伝える、理解させるというところには程遠いものでした。何度か授業を繰り返していくうちに、授業の計画自体は多少のまとまりができてきたと思うのですが、10調べて1話す、という言葉が教えていただいたように、よりよい授業を作っていくためには自分が充分だと思える以上の教材研究をしていく必要があるということが分かりました。他にも、言葉選びや声の抑揚、板書など、改善の余地はまだあるということも痛感しました。そしてそれらはすべて、生徒に理解してもらえるように、誠意をもって教

壇に立つ、ということにつながっているのだと思います。これが、教育実習を通して学んだ最も大切なことであつたと確信しています。

母校で過ごした3週間、同僚として一緒に活動した実習生

### 教師の役割と教育実習で学んだこと

#### 教育実習生

渡邊 柚香 (119回)

11卒

3週間という限られた期間の中でしたが、日々新しい気付きがあり、充実した教育実習となりました。

私は地理・歴史科(世界史)の授業を担当させていただきました。そして「教える」という活動を通じて、特に以下の2点のことを学びました。

まず1点目は、生徒の自主性を育てる手助けが教師の役割だということです。実習当初は、授業とは教師が1から10まで全てを説明するものだと考えていました。しかし、単に知識を伝達し覚えさせるだけの授業ではなく、生徒自身を考えさせる授業を行うことが求められているのだと気がつきました。世界史について言えば、教科書の内容

と、互いの授業を見学してアドバイスし合ったり、時に昔の思い出話をしたりしながら、穏やかな環境で実習ができたことも、自分にとっては大きな支えになりました。また、授業を受けてくださった生徒のみならず、そして何より、厳しくもあたたかく、的確な指摘で指導してくださった先生方、本当にありがとうございます。

その活動を通して生徒たち何を考えて意識させたいのかを、私自身の中ではつきりさせ、その目的にふさわしい取り上げかたを工夫することが肝だと実感しました。

今回の実習から、教師として

### 同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願います。

### 会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

教材に対する深い研究・理解は当然のことながら、生徒によく目を向け彼らの自主性・思考力・表現力などを育むサポートをする立場としての役割の重要さと責任を改めて認識しました。

同期会の開催に合わせ、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願います。

原稿の字数は800字から1,000字の間で書いて下さるようお願いいたします。1,000字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしくお願います。原稿について字、句を修正させていただきます。原稿が



平成 26 年 3 月 4 日 同窓会入会式 (視聴覚ホールにて)



新潟県立新潟高等学校創立百二十周年記念事業収支報告

平成 26 年 3 月 31 日現在

Table with 5 columns: 収入の部, 予算, 決算, 差異, 備考. Rows include 同窓会寄付金, P T A 寄付金, 法人寄付金, etc.

Table with 5 columns: 支出の部, 予算, 決算, 差異, 備考. Rows include 記念事業費, 教室の I C T 化, 周辺機器, etc.

Summary row: 収支差額 0, 8,540,517, △ 8,540,517

平成 26 年 4 月 7 日
上記の通り相違ないことを確認致します。

監事 江口良助
監事 渡辺昌夫

職員の異動

平成二十六年四月

- List of staff movements including 退職 (Retirement), 転出 (Transfer out), 転入 (Transfer in), 非常勤講師 (Part-time lecturer), 養護助教諭 (Nursing teacher), etc.



青陵祭

- Additional list of staff including 常勤講師 (Regular lecturer), 養護助教諭 (Nursing teacher), 非常勤講師 (Part-time lecturer), etc.

平成25年度 青山同窓会会費納入者

(H 25. 4. 1 ~ H 26. 3. 31)

10 月より 3 月末までに納入いただいた方を掲載しております。4 月より 9 月末までに納入された方は前号に掲載済みです。会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

平成 26 年度から全日制と通信制を併わせ、振替口座を統一しましたので、ご注意願います。

1 口 1,000 円。できるだけ 2 口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座 全日制・通信制 00650-7-4455 青山同窓会

Table with 10 columns listing members and their contribution years. Columns include: 全日制 (Full-time), 伊藤 寿介 (Ito Shu), 牛 沢 克 巳 (Ushizawa Kikumi), 渡 辺 春 夫 (Watanabe Haruo), 片 山 修 (Katayama Shu), 花 角 英 世 (Hanagaki Eisei), 104 回 H 8 年 (104th H 8 year), 30 回 S 63 年 (30th S 63 year). Each entry lists a name and a year.